

「復興道路」の整備に向けた取組を進めています！

～ 災害に強い交通ネットワークの構築に向けて ～

道路建設課

県では、東日本大震災津波からの早期復興のため、三陸縦貫自動車道、三陸北縦貫道路、八戸・久慈自動車道の三陸沿岸道路及び東北横断自動車道釜石秋田線、宮古盛岡横断道路の内陸と三陸沿岸地域を結ぶ横断軸の高規格幹線道路等を「復興道路」として位置付け、国道や県道等の「復興支援道路」、「復興関連道路」と併せて三陸復興道路整備事業として災害に強く信頼性の高い道路ネットワークを構築することとしています。

この「復興道路」の早期整備に向けて、国や県では様々な取組を進めています。

復興道路整備促進連絡調整会議（H23.7.22 設置）

「復興道路」の整備促進のため、これまでに2回の会議を開催し、協議窓口の一本化など関係機関が連携して各種協議を円滑に進めることができるよう調整を図っています。

「復興道路」に関するこれまでの動き

- H23.7～ 国が三陸沿岸道路、東北横断自動車道釜石秋田線等が通る概ねのルートや出入口等について公表、アンケート実施
- H23.8.30 三陸沿岸道路と東北横断自動車道釜石秋田線のルート決定
- H23.9.7 県が宮古盛岡横断道路の優先整備区間にかかる概ねのルートを公表

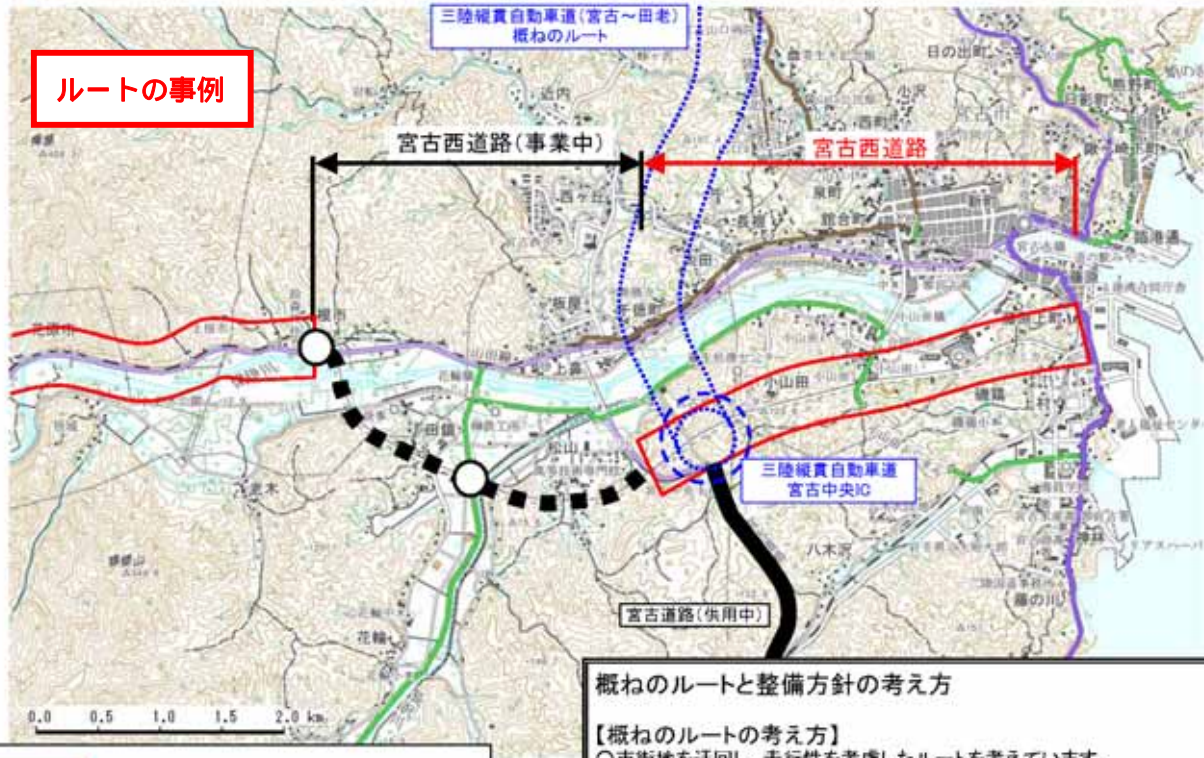
宮古盛岡横断道路優先整備区間の概ねのルート

県では、宮古盛岡横断道路（国道106号：岩手県管理）を重点整備するにあたり、線形不良箇所の解消や整備により時間短縮効果が大きいなどの整備効果が見込まれる区間を「優先整備区間」として選定し、整備方針と概ねのルートを公表しました。

宮古盛岡横断道路優先整備区間の位置図



宮古盛岡横断道路 優先整備区間 ①宮古西道路



概ねのルート範囲(500m幅)

概ねのルートと整備方針の考え方

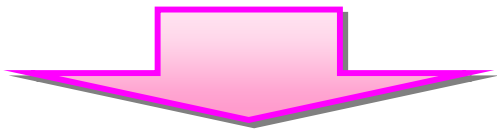
【概ねのルートの考え方】
 ○市街地を迂回し、走行性を考慮したルートを考えています。
 ○このルートは都市計画決定済です。

【整備方針について】
 ○都市計画決定に基づいた整備を考えています。

宮古盛岡横断道路の概ねのルートについては、こちらの県土整備部ポータルサイトで公表しています

<http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?nd=2170&of=1&ik=3&pnp=66&pnp=2156&pnp=2170&cd=34424>

- H23.9.7 宮古盛岡横断道路の国による整備について
松原国土交通副大臣あて要望
- H23.9.20 H23年度第三次補正予算に向けた新規事業採択時評価手続き着手を公表
- H23.9.21 社会資本整備審議会道路分科会
東北小委員会
- H23.9.28 社会資本整備審議会道路分科会
事業評価部会



三陸沿岸道路、東北横断自動車道釜石秋田線、宮古盛岡横断道路の未着手区間等について

「新規事業化は妥当」との審議結果が得られました